

部門費計算 第8問 問題

国府台製作所では、補助部門である保全部門が第1製造部門と第2製造部門に対して保全作業を提供しており、各製造部門での保全作業時間を配賦基準として保全部門費を各製造部門へ配賦している。実際配賦を行う場合と予定配賦を行う場合について、各製造部門への配賦額を計算しなさい。

(資料)

① 実際に関するデータ

保全部門費実際発生額……5,772,000円

実際保全作業時間 ; 第1製造部門……230時間、 第2製造部門……290時間

② 予算に関するデータ

保全部門費予算額……5,500,000円

予定保全作業時間 ; 第1製造部門……200時間、 第2製造部門……300時間

| | 第1製造部門への配賦額 | 第2製造部門への配賦額 |
|-----------|-------------|-------------|
| 実際配賦を行う場合 | 円 | 円 |
| 予定配賦を行う場合 | 円 | 円 |

部門費計算 第8問 模範解答

| | 第1製造部門への配賦額 | 第2製造部門への配賦額 |
|-----------|-------------|-------------|
| 実際配賦を行う場合 | 2,553,000 円 | 3,219,000 円 |
| 予定配賦を行う場合 | 2,530,000 円 | 3,190,000 円 |

【解説】

実際配賦を行う場合の配賦額

$$\text{第1製造部門} ; \frac{5,772,000\text{円}}{230\text{h} + 290\text{h}} \times 230\text{h} = 2,553,000\text{円}$$

$$\text{第2製造部門} ; \frac{5,772,000\text{円}}{230\text{h} + 290\text{h}} \times 290\text{h} = 3,219,000\text{円}$$

予定配賦を行う場合の配賦額

$$\text{予定配賦率} ; \frac{5,500,000\text{円}}{200\text{h} + 300\text{h}} = 11,000\text{円/h}$$

$$\text{第1製造部門} ; 11,000\text{円/h} \times 230\text{h} = 2,530,000\text{円}$$

$$\text{第2製造部門} ; 11,000\text{円/h} \times 290\text{h} = 3,190,000\text{円}$$